



2020年12月15日

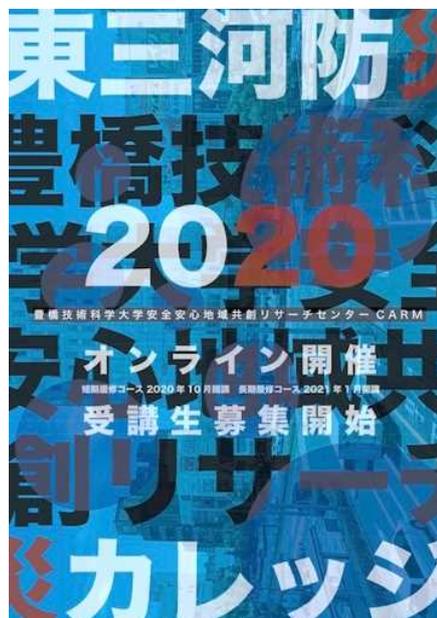
**東三河防災カレッジ 2020・オンライン開催（後期）
受講生募集について**

＜概要＞

豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンターでは、11月30日より**年明け1月から2月にかけて実施する東三河防災カレッジ 2020・オンライン開催（後期）4講座**の受講生募集を開始しました。

今年度の東三河防災カレッジは、新型コロナウイルス感染症の感染予防ならびに感染リスク低減の観点から、**対面形式の教室講義を中止し、オンラインによる遠隔形式の講義**を実施しています。

オンライン開催にあたり、遠隔地にいる講師とのコラボレーションによる7回のオンラインセミナーを企画しました。年内分3回はすでに終了し、現在、年明けに開催する4回のセミナーの受講生募集を行っています。多くの皆様のご参加お待ちしております。



今回参加者を募集する講座

- ・2021年1月21日（木）これからの「生活景」のつくりかた
- ・2021年1月26日（火）災害リスクコミュニケーションと避難行動
- ・2021年2月09日（火）SDGsと企業防災
- ・2021年2月12日（金）コロナ下の技術革新～建設業界～（日本建築学会東海支部との共催）

＜詳細・申込み＞

別紙をご覧ください。

右のQRコードから東三河防災カレッジの特設サイトに飛ぶことができます。



※東三河防災カレッジとは

東三河防災カレッジは、2014年2月に「地域地震防災コース」の名称でスタートした社会人を対象とした防災教育プログラムです。2016年に現在の「東三河防災カレッジ」に改称。2017年12月には文部科学大臣認定の職業実践力育成プログラムに認定されました。延受講者数は1,000人以上。南海トラフ地震の発生に備え、企業・自治体等の防災計画の策定や災害時の緊急対応において指導的な役割を担える人材を養成しています。

本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 堤・高柳・杉村 TEL:0532-44-6506

東三河防災カレッジ 2020 オンライン化・特別企画

第4弾

これからの「生活景」のつくりかた

主催：豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター

2021.01.21 (木) 13:30-16:30
オンライン開催 参加費 500 円



佐久間康富
和歌山大学
准教授



河野直
つみき設計施工社
代表



穂苅耕介
豊橋技術科学大学
特任助教

豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター主催

2020 年度 東三河防災カレッジ オンライン化・特別企画 第4弾 (公開講座)

これからの「生活景」のつくりかた

たまにまちを歩いていると、そこにあるものが急になくなるのを目の当たりにするよりも、当たり前にあるはずと思っていたものがいつの間になくなっていくのほうに衝撃を受けることがあります。コロナ禍の行動の自由の制限は、住まいの足下にあるまちの日常風景に目を向けざるをえない状況を生み出しました。そうした時はじめて、当たり前であり続けるだろうと思っていたものがじつはそうではなかったこと、どうでもよかったものがじつはどうでもよくなかったことに気がつきます。わたしたちが住み続けたいと思う暮らしの風景は、この先どのように考えていけばよいのでしょうか。これは、事前復興でよく議論されるまちにとっての「大切な場所」をいかに守りながら災害に備えるかという課題に対しての、「大切な場所」とは一体何だろうか、という問いかけでもあります。

オンライン化の特別企画第4弾では、「これからの「生活景」のつくりかた」をテーマに、人口減少化のまちづくりの課題や農山村の住み継ぎの研究などに携わる佐久間康富さん（和歌山大学システム工学部・准教授）と千葉県市川市を拠点に、参加型リノベーション/DIY ワークショップを通じた空間・コミュニティづくりを実践している河野直さん（合同会社つみき設計施工社・代表）をゲストに招き、わたしたちが生活する「まち」と「人」との関係を、「生活景」という観点から問い直します。

///// 概要 /////

日 時：2021 年 01 月 21 日 (木) 13:30-16:30 (13:00 開室)

会 場：オンライン開催 (Zoom)

参加費：500 円

定 員：50 名程度（どなたでもご受講いただけます）

申込み：Web 申込フォーム（申込期限：1 月 18 日（月）17 時）

お申込みいただいたメールアドレス宛に、視聴用 URL をお送りします。

///// タイムテーブル /////

【これからの生活景のつくりかた】

2021 年 01 月 21 日（木）13:30-16:30 オンライン開催

- 13:00 開室
- 13:30-13:35 あいさつ
- 13:35-14:20 河野 直「ともにつくるリノベーション～住むまちを面白くする仕事」（45 分）
- 14:20-14:50 穂苺耕介（リノベーションによって引き継がれるまちの風景）（30 分）
- 14:50-15:00 トイレ休憩
- 15:00-15:30 佐久間康富「生活景から考える人とまちの関係」（30 分）
- 15:30-16:20 フリートーク、質疑応答
- 16:20-16:30 次回案内

///// 登壇者略歴 /////

・佐久間康富（さくま・やすとみ）

和歌山大学システム工学部・准教授。1974 年所沢市生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程退学。博士（工学）。（株）環境と造形、早稲田大学教育・総合科学学術院助手、大阪市立大学大学院工学研究科講師などを経て、2017 年より現職。共著書に『まちづくりオーラル・ヒストリー』『無形学へ かたちになる前の思考』『住み継がれる集落をつくる』『小さな空間から都市をプランニングする』ほか。

・河野 直（こうの・なお）

1984 年広島県三原市生まれ。京都大学大学院修了後、26 歳の時にどこにも就職することなく、「つみき設計施工社」を市川市で起業。「ともにつくる」を理念に、住む人と作る人が、ともにつくり、学び合う「参加型リノベーション」を展開。10 年間で 400 回以上の DIY ワークショップを全国各地で開催。著書に「ともにつくる DIY ワークショップ(ユウブックス出版)」等。3 娘の父。

・穂苺耕介（ほかり・こうすけ）

豊橋技術科学大学・特任助教。1981 年生まれ。芝浦工業大学システム工学部卒業、千葉大学大学院都市環境システム専攻修了、京都大学大学院都市環境工学専攻修了。博士（工学）。大学非常勤講師や研究員などを経て 2016 年より現職。専門は、都市・地域計画。既成市街地の再生に地域建設業が果たす役割について注目した研究をおこなっている。

東三河防災カレッジ 2020 オンライン化・特別企画

第 5 弾

災害リスクコミュニケーションと 避難行動

主催：豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター

2021.01.26 (火) 14:00-17:00

オンライン開催 参加費 500 円



小杉 素子

静岡大学
学術院工学領域 特任准教授



杉木 直

豊橋技術科学大学
建築・都市システム学系 准教授

豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター主催

2020 年度 東三河防災カレッジ オンライン化・特別企画 第 5 弾 (公開講座)

災害リスクコミュニケーションと避難行動

これから直面しようとしている危機のことを「わかっているけど、回避できなかった」という経験は誰しもあるのではないのでしょうか。どうやら何かのリスクについて「認知」することと「行動すること」とは、必ずしも結びついてはいないようです。では、自然災害というリスクに対し、私たちはどのような準備や対策をしていけばよいのでしょうか。

オンライン化の特別企画第 5 弾では、津波時や大規模水害時の避難行動や情報伝達に関する取り組みを行っている本学の杉木直（豊橋技術科学大学・准教授）をホストに、社会心理学的な視点から自然災害や気候変動などのリスク問題について人間がどう認識するのか、対策行動を促すためにはどのようなコミュニケーション活動が効果的なのかについて研究している小杉素子さん（静岡大学防災総合センター・特任准教授）をゲストに招き、「災害リスクコミュニケーションと避難行動」について考えます。

////// 概要 //////

日 時：2021 年 01 月 26 日 (火) 14:00-17:00 (開室：13:30)

会 場：オンライン開催 (Zoom)

参加費：500 円

定 員：50 名程度 (どなたでもご受講いただけます)

申込み：Web 申込フォーム (申込期限：1 月 22 日 (金) 17 時)

お申込みいただいたメールアドレス宛に視聴用 URL をお送りします。

///// タイムテーブル /////

【災害リスクコミュニケーションと避難行動】

2021年01月26日（火）14:00-17:00 オンライン開催

- 13:30 開室
- 14:00-14:10 あいさつ
- 14:10-15:00 小杉素子「災害とリスクコミュニケーション」(50分)
- 15:00-15:50 杉木 直「災害時における避難の課題と対策」(50分)
- 15:50-16:50 フリートーク、質疑応答
- 16:50-17:00 次回案内

///// 登壇者略歴 /////

・小杉素子（こすぎ・もとこ）

静岡大学防災総合センター・特任准教授。科学技術や自然災害などのリスクについて、人々の情報処理過程、情報を伝える側（リスク管理者や専門家）と受け手側の様々な違いによるコミュニケーションの問題、信頼形成などを社会心理学的な視点から研究している。

・杉木 直（すぎき・なお）

豊橋技術科学大学・准教授。1973年生まれ。東北大学大学院情報科学研究科修了。博士（環境情報学）。群馬大学大学院工学研究科生産工学専攻助手、株式会社ドーコンを経て、2016年より現職。専門は、交通工学・土木計画学。都市の将来構造予測や政策評価に関するモデル分析や、それらの知見を防災分野、特に避難シミュレーションや災害情報伝達へ活用するという視点から研究をおこなっている。

（司会進行）

・穂苅耕介（ほかり・こうすけ）

豊橋技術科学大学・特任助教。1981年生まれ。芝浦工業大学システム工学部卒業、千葉大学大学院都市環境システム専攻修了、京都大学大学院都市環境工学専攻修了。博士（工学）。大学非常勤講師や研究員などを経て2016年より現職。専門は、都市・地域計画。既成市街地の再生に地域建設業が果たす役割について注目した研究をおこなっている。



2021.02.09 (火) 14:00-17:00

オンライン開催 参加費 500 円



小野 高宏

三菱商事インシュアランス
リスクコンサルティング室長



阪本 真由美

兵庫県立大学
減災復興政策研究科 教授

豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター主催

2020 年度 東三河防災カレッジ オンライン化・特別企画 第6弾 (公開講座)

SDGs と企業防災 (仮題)

持続可能なよりよい社会の実現を目指して 2015 年 9 月の国連サミットで採択された SDGs。ここで設定された 2030 年を期限とする国際社会共通の 17 の達成目標は、日本各地でも広がりを見せています。一方、2011 年の東日本大震災から 10 年が経過し、2015 年には仙台市で国連防災世界会議が開催され、震災を教訓とした世界的な防災・減災に向けた動きが加速しています。災害に強いこれから社会を築くためには、自治体、民間企業のほか、様々な主体が力をあわせてともに歩んでいく必要があります。民間企業においても SDGs 達成に向けた行動が求められるいま、企業防災は SDGs にどのように貢献できるのでしょうか。

オンライン化の特別企画第6弾では、民間企業のリスクマネジメントやリスクファイナンスの支援を実践する小野高宏さん(三菱商事インシュアランス・リスクコンサルティング室長)と防災危機管理や防災教育を専門として災害の現場に寄り添いながら各地の防災・減災対策に携わる阪本真由美さん(兵庫県立大学減災復興政策研究科・教授)をゲストに招き、SDGsの達成期限である2030年まであと10年あるなかで「SDGsと企業防災」について考えます。

///// 概要 /////

日 時：2021 年 02 月 09 日 (火) 14:00-17:00

会 場：オンライン開催 (Zoom)

参加費：500 円

定 員：50 名程度 (どなたでもご受講いただけます)

申込み：Web 申込フォーム

お申込みいただいたメールアドレス宛に、申込締切後、視聴用 URL をお送りします。

///// タイムテーブル /////

2021年02月09日(火) 14:00-17:00 オンライン開催

- 13:30 開室
- 14:00-14:10 あいさつ
- 14:10-15:00 小野高宏「企業の事業継続計画の推進とSDGsについて」(50分)
- 15:00-15:50 阪本真由美「豪雨災害と中小企業の業務継続-平成30年7月豪雨より-」(50分)
- 15:50-16:50 フリートーク、質疑応答
- 16:50-17:00 次回案内

///// 登壇者略歴 /////

・小野高宏(おの・たかひろ)

三菱商事インシュアランス株式会社リスクコンサルティング室長/アジア防災センター客員研究員。名古屋工業大学大学院社会工学専攻後期博士課程修了。一橋大学/イノベーションマネジメント・政策プログラム修了。博士(工学)。損害保険会社勤務、経済産業省出向、アジア防災センター出向などを経て現職。『国際協力と防災一つくる・よりそう・きたえる』(共著、京都大学出版)、『大規模災害リスクと地域企業の事業継続計画』(共著、中央経済社)など。

・阪本真由美(さかもと・まゆみ)

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・教授。京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了。博士(情報学)。国際協力機構(JICA)、人と防災未来センター、名古屋大学減災連携研究センターを経て現職。ナショナル・レジリエンス(防災・減災)懇談会委員、文部科学省科学技術・学術審議会測地学分科会専門委員、内閣府地区防災計画アドバイザー、長野県防災会議委員、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)理事など。著書に『わかる!取り組む!災害と防災1地震』(共著、帝国書院、2017) 翻訳に『災害の倫理』(ザック著、勁草書房、2020)など。

(事務局)

・穂苅耕介(ほかり・こうすけ)

豊橋技術科学大学・特任助教。1981年生まれ。芝浦工業大学システム工学部卒業、千葉大学大学院都市環境システム専攻修了、京都大学大学院都市環境工学専攻修了。博士(工学)。大学非常勤講師や研究員などを経て2016年より現職。専門は、都市・地域計画。既成市街地の再生に地域建設業が果たす役割について注目した研究をおこなっている。